

HD300形式ハイブリッド機関車「量産車」の運転開始について

平成24年2月16日

東京貨物ターミナル駅の“構内入換用”として使用している『HD300形式ハイブリッド機関車』の“量産車”が今般、落成し、使用開始しました。

1. 落成両数（形式・車号） 1両（HD300-1号機）

2. 使用開始日 平成24年2月8日（水）

3. 主な改良点

（1）作業性の向上

- ・乗降ステップの小型化、前面手すり形状の変更
- ・前灯・標識灯の取付位置の変更で、地上からの車両視認性を向上
- ・端梁の拡幅で、ステップの雪埋没の防止

（2）操縦性の向上

- ・運転室扉の窓の拡大で、運転席からの視認性を向上
- ・運転室内の機器とモニタ画面の配置の変更

（3）保守性の向上

- ・点検カバーの小型化等で検修作業の省力化

4. 導入効果

従来の機関車（DE10形式）と比較して、燃料消費量36%低減、NOx排出量61%低減、騒音レベル22dB低減等の効果が得られます。

外観（左：量産車[HD300-1号機]） （右：試作車[HD300-901号機]）

